「彩の国」さいたま 埼玉県

埼玉のマスコット
「コバトン」

第3回学校説明会

校長あいさつ

埼玉県立
浦和商業高等学校

校　長　　内　田　靖

【浦商の特徴】　皆さんにお伝えしたいこと

浦商は、

1　進学指導と就職指導の一体的展開により、**生徒の進路実現とキャリア形成を支援する**

2　資格・検定試験を通じて習得した知識や技能を、**つかえる知識・技能に進化させる**

高校

1　生徒の進路実現とキャリア形成を支援する高校

進学指導と就職指導は別もの？

同じものです。

どうして？

進学した人も、いずれ就職します。
それから、就職した人も、その後、
進学するかもしれないからです。

1　生徒の進路実現とキャリア形成を支援する高校

「就職した人も、その後、進学するかもしれない。」とは？

大学等において、さらなる学びが求められるようになるからです。先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代においては、質量ともに高い知識・技能が求められます。

※　詳しくは、配付資料の最後にある「キャリアのトランジション・リレーを目指して」参照

1　生徒の進路実現とキャリア形成を支援する高校

だから

進学指導と就職指導の一体化

先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代

進学と就職両方について学んでおくべき

それが

自分のキャリアを高める正道

※キャリア：自分の果たすべき役割の価値、自分と役割との関係を見出し積み重ねていくもの

1　生徒の進路実現とキャリア形成を支援する高校

浦和商業高校では
進路実現を果たすことに加えて

生涯にわたって
自分の果たすべき役割の価値と、
自分と役割との関係を積み重ねていく
キャリア形成を図る方法を学ぶ

以上の説明を
動画で紹介↑

つかえる知識・技能に進化させる高校

資格取得

~検定試験１級を3つ以上
取得した生徒たちを表彰~

探究活動

~資格取得で得た知識を活用して、
自分たちで問いを立て課題を解決~

起業家育成講座～ビジネス
アイデアを考えて発表～

マーケティングのクイズ大
会～大学生が示す、マー
ケティングの事例を皆で
読み解く～

つかえる知識・技能に進化させる高校

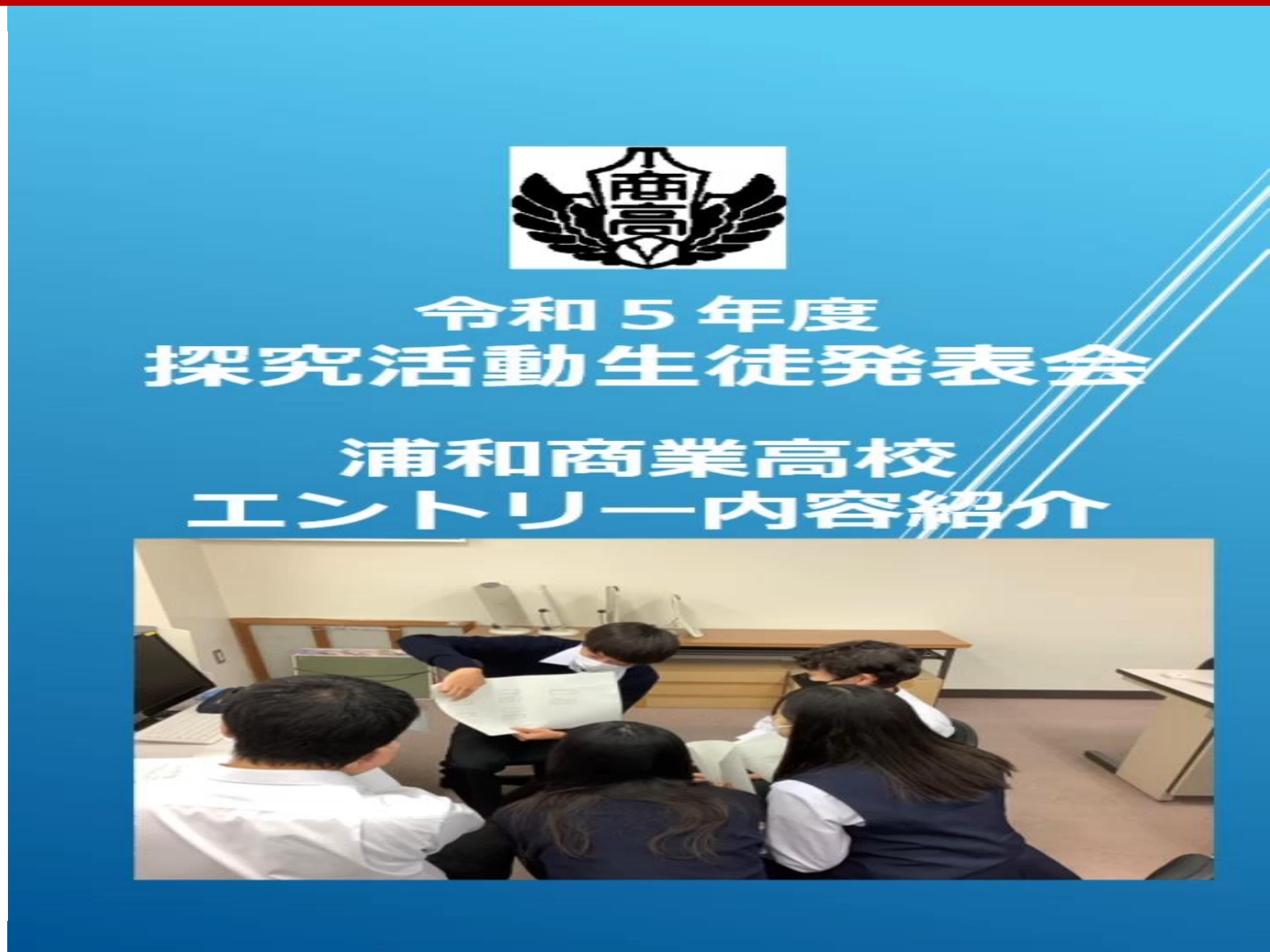
探究活動生徒発表会
（埼玉県教育委員会）

浦和商業高校
エントリー内容紹介動画

・動画制作「商業科目の魅力」
・「ビジネス・マネジメント」における外部連携
・浦商消費者教育かるたの説明とデモンストレーション（かるた大会）

○日時　12／26（火）
午前10時～午後4時

○場所　日本薬科大学
（ニューシャトル志久駅）



つかえる知識・技能に進化させる高校

【発表校一覧】

1　学際的な学び推進事業指定校

浦和商業、小川、春日部工業、春日部女子、川口北、児玉、坂戸、秩父、所沢北、飯能、松山、松山女子

2　データサイエンス・AIリテラシーを活用できる高校生育成研究事業指定校

熊谷、熊谷女子

3　SSH指定校

浦和第一女子、川越女子、春日部、松山、熊谷西、越谷北、熊谷

4　希望校

朝霞（定時制）、大宮工業、所沢、不動岡

説明や見学の申込みは↓

圧倒的に先頭を走る商業高校のフロントランナー

浦商の学びを通じて、
確かな未来への
切符を手にしよう！

埼玉県立
浦和商業高等学校

学校ホームページ

公式インスタグラム

公式×

校長挨拶
（第1回学校説明会）

校長挨拶
（第2回学校説明会）

キャリアのトランジション・リレーを目指して

校長　内田　靖

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。このタイトルは 生涯を通じて、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしてつなげ積み重ねていきましょう」というメッセージです。

敢えてカタカナを使わず表現するならば、キャリアとは 自らの役割の価値や自分と役割の関係を見いだしてつなげ積み重ね」ることを指しています(※)。そして、トランジション・リレーとは、このキャリアについて 生涯を通じて」つなげ積み重ね」ていくことです。まとめて短くわかりやすく述べると、キャリアというバトンを上手にリレーしていきましょう。」ということです。

浦和商業高校の進路指導やキャリア教育を思い出してみてください。第一学年の時から自分の希望進路にかかわらず全員が、大学・専門学校・民間企業・官公庁に関するガイダンスを受けたはずです。このような仕組みにした理由は浦和商業高校が進路多様校であるから全方位の進路を学ぶべきという考えに加えて、人はいつかは働くようになるし、働いた後の学びなおしもあるからなのです。

ところで、我が国の雇用は長い間、終身雇用や年功序列という方法が採られてきました。それが日本の強さ、『Japan as Number One: Lessons for America』(※※)と言われた時代もありました。しかしながら、今日、新しい資

本主義実現会議」の議論にもあるとおり、リスキリング（学びなおし）や日本版ジョブ型雇用という言葉が盛んに使われるようになっています。これは近い将来、雇用の流動化が主流になるということです。

だから、タイトルのとおり、キャリアのトランジション・リレーが重要になってくるのです。これまでは、キャリアは一つの組織の中でつなげていくものでした。よって、キャリアやそのつながりをあまり意識しなくても、自然とキャリアが形成され、つながっていきました。所属組織が、組織員の果たす役割の価値やその人と役割の関係を規定し、つなげて積み重ねてくれたのです。

しかしながら、雇用が流動化するこれからは、キャリアの形成や積み重ねを自分自身で行わなければ自身の成長を図れなくなります。自分自身でキャリアを積み重ねる仕組みを構築しなくてはなりません。その仕組みを持たなければ、キャリアのバトンはリレーされず、雇用の流動化の波にただ浮遊していくだけの存在になってしまいます。

そこで、卒業後も浦和商業高校のキャリア教育を思い出し、キャリアのバトンを上手につないでいってください。

※中教審答申　今後の学校におけるキャリア教育・職業育の在り方について」（2011年）　※※1979年、エズラ・ヴォーゲル著、広中和歌子・木本彰子訳、TBSブリタニカ